

老津スポーツフェスティバル テーマ『150周年 老津スポフェス王に俺はなる！』

5/21(日)に、老津スポーツフェスティバルを開催しました。曇り空から少しずつ青空がのぞき、150周年セレモニーでエコバルーンを飛ばす時には、青空がまぶしいほどでした。限られた練習で当日を迎えましたが、6年生をはじめ高学年のリードで、最後まで立派な姿でやり遂げました。

1年生から6年生まで、どの競技でも、ゴールまで走り抜く姿、全力で声援を響かせる姿、万歳をしてともに喜ぶ姿、競う相手に惜しめない拍手を送る姿…があり、とても感動しました。今年度は、多くのご来賓の皆様にも参観いただきました。保護者のみなさま、地域のみなさま、たくさんのご声援をありがとうございました。



堂々とした合図で入場行進



運営委員の先導で、足並みそろえて入場行進



運営委員長による開会のことばでスタート



4色の代表児童による力強い誓いのことば



全校の声を響かせた『運動会の歌』



1年生の元気いっぱいの徒競走

創立 150 周年セレモニーとして、バルーンリリースを行いました。運営委員長さんが「老津小学校の歴史を作ってくれた先輩たちに感謝し、もっと素晴らしい老津小学校に…」と話し、「希望の花を」の合図のあと、全校で「咲かせよう」と言いながら、子どもたちは縦割り班の赤・黄・青・緑の4色の風船を、教職員らは白色の風船を一斉に飛ばしました。子どもたちは、高く高く大空に飛んでいく色とりどりの風船をしばらく眺めていました。

今後の創立 150 周年記念事業でも、子どもたちがこれまでの老津小の歩みを振り返り、未来の老津小を考えて行動していけるように進めていきたいと思います。



歌い継がれた校歌を



心に残る素晴らしい
スポーツフェスティバル
になったね！



高く遠くまで飛んでいく風船を眺めて…

様々な体験を…

6年生が、災害救護についての出前講座を受講しました。もし地震が起こって怪我をしたら、どんな行動ができるかについて考えました。救護所の役割を学んだり、ビニール袋やハンカチを使った応急手当の方法を実際に試したりしていました。身近なもので怪我の手当ができることに、子どもたちは驚いていました。そして、災害のとき、避難後に自分たちができることを考えて行動にうつすことの大切さを学んだようです。

今後、出前講座や見学等、体験を取り入れながら授業を進めていきます。体験や本物を重視した学びを大切にしていきたいと思います。



ビニール袋をハサミで切って…